

かがやき5年 のびやか活動 テーマ:「かがやき米プロジェクト」

令和8年用 5年生 生活科・総合的学習の時間 年間活動計画

稲作の実体験を通して米づくり農家の努力や苦労、工夫などに気づき、稲作や農業を取り巻く現状や課題などについての学習課題を追求することで、米と自分のかかわりについて考える。

4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1学期のねらい ・実際の米づくりの体験を通して、農業の楽しさや苦労を知り、昔や現代、これからの農業の進め方や問題点を多角的にとらえる。 ●上石さんの支援を受けて米づくりをする。 ●社会科の「未来を支える食料生産」と関連させて学習課題を設定し、専門機関や農政関係者などに学びながら、追究する。 30 時間 ○米づくりをしよう ～春～ ・ねらいの明確化と共有 ・上石さんとの出会い →米作りへの意欲・課題を持たせる ・田起こし、田植え体験。田、稲の観察、成長を捕らえる ・元肥、追肥、草取り、虫対策 鳥対策 水管理などの世話活動 ⇒維持管理している方（上石さん）の活動に気付く。 ・バケツ稲による栽培活動 自分自身のテーマ設定 ⇒どこに興味があるのかを捉え、考える ○上石さんの思いを知り、農業の形を知る ・春日小学校の5年生に米づくりを指導してくださるわけ ・上石さんの喜び、苦労、5年生に伝えたいこと ・春日小学校地域の米作りの推移 ・昔ながらの米作りと現代の米作りについて ・棚田での稲作との違い（布施さん） ○バケツ稲の栽培方法について調べる ・よりよく育つための方法を考える ・学校田での米作りとの違い ○米づくりにかかわる方の思いや願いを聞き、現代の農業について知る 中日本農業研究センター 加藤さん ・後継者の問題 ⇒高齢化、家族のつながり、若い人達の活躍 ・米の消費量の減少 ⇒食生活の変化、野菜への転作 ・米の品種、値段の話 ○中日本農業研究センター見学 or 出前授業 ・米づくりの遍歴、現代の農業（大規模化、法人化、DX推進など） ・品種改良や米づくりの工夫 ・スマート農業 ⇒先進農業、農業の自動化、農家の負担減				2学期のねらい ・田植えから収穫までの自分たちの米づくりの活動を振り返り、個人テーマで追究してきたことを発信することで、自分の考えを深める。 ●米の収穫をするとともに、米が私たちの食卓に上がるまでの流通や米価などとのつながりについて追究する。 ●個人テーマで追究したことを発信するためにまとめる。 35 時間 ○米づくりをしよう ～秋～ ・稲刈り、乾燥、脱穀、もみすり ・上石さんへ感謝の手紙 ○これからの農業に携わる人の話を聞き、新しい農業の形を知る ・会社としての米づくり、法人化 ・資産（農作機械、土地、人材）の共有化 ・若い人の米づくりに対する思いや活動 ○収穫したかがやき米をどうするか考える ・お米の販売…消費者とのかかわり インタビュー調査 ・自分たちや学校内で食べてもらう ・米からできている物への加工（米粉やお酒、おせんべいなどの食品） ・備蓄米や米価の高騰など、現代的な課題についても考える ○収穫の喜びを共有する（感謝の会） 上石さん、JA 上越さん、可能な範囲で保護者 ・協力していただいた方への感謝 ・実際に米づくりを体験してみても意識の変化を振り返る ○これまでの活動を振り返り追求することを調べる ・昔ながらの農業のよさ ・農家の方の工夫 ・昔の米づくりの問題点 ⇒品種改良、機械化へ ・農業人口 ・兼業・専業農家 ・跡継ぎ問題 ・食の安全 ・米消費量の変化、生活様式の変化 ・機械化にかかわる問題、経費や収入の安定 ・栽培から販売までの流れ ・休耕地の面積 ・輸入される安価な米との競争 ・新しい農業（スマート農業） ・農業の法人化 ・若い人たちの挑戦 ・世界の中での日本の農業				3学期のねらい ・米づくり体験や米づくりの学習を通して、考えたこと、調べたことを発信する。 ●個人テーマで追究したことをまとめ、かがやき学年、保護者などに発信したり交流したりすることで、米と自分のかかわりについて考える。 5 時間 ○活動のまとめを整理して発表する。 ・活動のふり振り返り ・これまでの記録や発表資料の準備 ・学年や保護者を対象にした発表（報告） ○総合学習を通して学んだこと感じたことをまとめる ・米づくりを経験し、学んだこと ・米づくりに携わる人とかかわったことによる意識の変化 ・お米やそれにかかわる食品について		

